

令和3年度事業報告

I. 事業の状況

1. 奨学事業

(1) 外国人留学生に対する奨学事業

1) 奨学生の選考及び決定

令和3年4月14日開催の選考委員会（書面決議）において、推薦を依頼した指定25大学からの奨学生候補者について審査の結果、下表のとおり、一般奨学生37名（学部17名、大学院20名）、特別研究奨学生4名の計41名を新規に採択し、理事長はこれらを第20期小林奨学生として決定し、それぞれの大学に通知した。

これにより、令和3年度（第20期）の奨学生は、新規採択奨学生41名に継続の奨学生29名を合わせ、計70名となった。

内訳：

種 別		新規採択者	前年度からの継続者	計
一 般 奨 学 生	学 部	17	4	21
	大学院	20	15	35
特別研究奨学生	学 部	0	0	0
	大学院	4	10	14
計		41	29	70

2) 奨学金の支給

ア. 奨学金贈呈式

「新型コロナウイルス」の感染状況に鑑み、令和3年6月4日に予定していた、令和3年度の贈呈式は中止とした。

イ. 奨学金の支給

奨学生に対し、一般奨学金（学部生月額15万円、大学院生月額18万円）、特別研究奨励金（月額20万円）をそれぞれ4月から1年間支給した。

(2) 日本人学生に対する奨学事業

1) 医学部生育成支援プログラム第1期生の選考及び決定

令和3年7月29日開催の選考委員会（Zoom開催）において、推薦を依頼した指定3大学からの候補者について審査の結果、計4名（東京大学2名、京都大学2名）の者を採択し、理事長はこれらを医学部生育成支援プログラム第1期生として決定し、それぞれの大学に通知した。

2) 奨学金の支給

ア. 奨学金贈呈式

「新型コロナウイルス」の感染状況に鑑み、令和3年9月30日に、Zoomにより実施した。

イ. 奨学金の支給

奨学生に対し、月額20万円をそれぞれ4月から1年間支給した。

(3) 学業に関する報告及び生活状況報告

令和4年1月、奨学生（外国人留学生）の勉学の状況・成果の報告、生活状況報告を求めた。

(4) 令和4年度奨学事業関係

1) 外国人留学生に対する奨学事業

令和4年1月28日付けで、令和4年度奨学生（第21期）候補者の推薦を19大学の長あて依頼した（推薦期限は3月4日）。

2) 日本人学生に対する奨学事業

令和4年3月16日付けで、令和4年度奨学生（第2期）候補者の推薦を4大学（指定大学）の医学部長あて依頼した（推薦期限は6月30日）。

2. 交流活動事業等

(1) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員、評議員、選考委員及び評議員選定委員の出席を得て次のとおり開催する予定であったが、「新型コロナウイルス」の感染状況に鑑み、全て中止とした。

なお、第1回の「第20期贈呈式・交流会」のうち、贈呈式については、令和3年11月1日に、第19期並びに第20期合同開催で、各期新規採択者の参加のもと、Zoomにより実施した。

また、第3回の「第20期終了式・交流会」のうち、終了式については、終了生の参加のもと、Zoomにより実施した。

第1回 令和3年6月4日 第20期贈呈式・交流会

第2回 令和3年9月16日～17日（1泊2日の研修旅行）

第3回 令和4年3月4日 第20期終了式・交流会

(2) 「翼」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「翼」第20号を令和4年3月31日に刊行した。

3. 研究支援事業

(1) 研究助成事業

① 公募期間：令和3年9月6日～10月22日

② 令和3年12月2日開催の選考委員会において下記45件を採択し、理事長は、これらを研究助成受給者として決定し、各研究代表者に通知した。

No	氏 名	所属機関及び職名	専門分野	研究テーマ
1	佐藤 精一	北海道大学 遺伝子病 制御研究所 講師	分子免疫学・ 分子腫瘍学	自然免疫チェックポイントによるウイルス 感染・腫瘍制御の解明
2	梶川 哲宏	東北大学病院 歯周病科 講師	歯学・歯周病 学・免疫学	歯周病におけるMAIT (mucosal- associated invariant T) 細胞の機能解明 と新規治療法開発に向けた基礎研究
3	坂井 隆浩	高崎健康福祉大学 薬学部 助教	実験動物学・ 細胞生物学	エルゴチオネインが細胞老化を抑制す る機序の解明
4	藤堂 浩明	城西大学 薬学部 准教授	製剤設計・ 経皮送達学	植物由来細胞外小胞を用いた皮膚疾 患治療モダリティの開発
5	富田 耕造	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授	構造生物学・ 分子生物学	病原性細菌に対する新規薬剤開発を目 指した、細菌が保有する抗生物質耐性・ 休眠に関わる蛋白質の機能と構造
6	林 久允	東京大学大学院 薬学系研究科 講師	小児肝臓病・ 臨床薬理学	小児肝内胆汁うっ滞性肝疾患の発症機 構の解明
7	高地 雄太	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授	ゲノム医学・ 膠原病内科学	DUX4 遺伝子の新規ジェノタイピング方 法の樹立と自己免疫疾患における機能 解析
8	瀬川 勝盛	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授	生化学・ 分子遺伝学	マクロファージにがん細胞を貪食させる バイスペシフィック抗体の開発
9	宮本 潤基	東京農工大学大学院 農学研究院 テニユア トラック 准教授	食品機能学・ 腸内細菌学	食の質的变化に着目した腸内環境と生 体エネルギー代謝調節
10	八波 利恵	東京工業大学 生命理工学院 准教授	遺伝子工学	メタボリックシンドローム改善効果をもつ 新規グリコーゲン様難消化性グルカン の酵素による合成と機能性評価
11	折原 芳波	東京工業大学 生命理工学院 准教授	免疫学・ アレルギー学	天然物を用いたトリプトファン代謝経路 調節による免疫防御能の強化

12	稲垣 絵海	慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 特任講師	再生医科学・ 抗加齢医学	人生100年時代に向けたNADに着目した栄養学的なアプローチによる革新的老化抑制法の探索
13	向山 順子	国際医療福祉大学 三田病院 病院講師	消化器外科学	腸管免疫の慢性賦活化に起因する大腸癌の新規発癌機構の解明と最適化治療の確立
14	渡辺 心	順天堂大学大学院 医学研究科 先任准教授	マイクロバイオー ーム・外科学	結核を含む抗酸菌感染症に対する抗菌薬の薬用植物ライブラリーを用いたスクリーニング
15	山口 優也	東邦大学 医学部医学科 助教	細胞生物学・ 食品機能学	老化細胞の細胞死を誘導するインドネシア原生植物由来成分の探索
16	牛木 隆志	新潟大学 医歯学総合病 院 輸血・再生・細胞治療 センター 病院准教授	血液学・免疫 学・炎症学	SOCS3 を介した高脂肪食誘発性GVHD の免疫制御機構
17	中嶋 優	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系(和漢系) 助教	天然物化学	難治性癌に高発現している AspH の阻害物質を探索し、癌治療薬シード化合物の開発に資する
18	中島 美紀	金沢大学 ナノ生命科 学研究所 教授	薬物動態学	A-to-I RNA 編集酵素を阻害する抗がん DNA アプタマー開発研究
19	吉成 浩一	静岡県立大学 薬学部 教授	毒性学・ 衛生化学	胆管がんの新たな予防・治療手法の開発:天然物と薬物応答性核内受容体に着目した研究
20	竹森 洋	岐阜大学 工学部 教授	天然物化学	インドネシアとの共同による「美肌菊:ヌマダイコン」の抗炎症素材としての開発
21	位田 雅俊	岐阜薬科大学 教授	神経再生薬理 学・薬物治療学	予防医学の実現化に向けたオートファジーを誘導する機能性食品成分の探索
22	前田 修	名古屋大学 医学部附属病院 化学療法部 病院准教授	臨床腫瘍学	希少がんに対する化学療法におけるバイオマーカーとしての非翻訳 RNA の探索的研究
23	古川 希	名古屋大学大学院 医学系研究科 助教	循環生理学	腸内細菌叢をターゲットとした心不全に対する植物由来バイオカニン A の役割の解明
24	小西 裕之	愛知医科大学 医学部 教授(特任)	生化学・ 分子生物学	正確で安全性の高い新規ゲノム編集法による疾患遺伝子修復 ― 先天性疾患の根治療法に向けて

25	加藤 果林	京都大学 医学部附属 病院麻酔科 助教	麻酔科学	高解像度患者脳画像に基づく慢性疼痛 の動物モデルの検討とそれによる新規 治療薬のスクリーニング
26	高田 和幸	京都薬科大学 薬学部 教授	神経薬理学	脳免疫細胞ミクログリアの発生から迫る 脳機能機構機序の解明と脳疾患治療 への応用
27	北原 亮	立命館大学 薬学部 教授	構造生物学	タンパク質の液液相分離と低分子化合 物による相分離の阻害
28	天ヶ瀬 紀久子	立命館大学 薬学部 准教授	薬理学・ 薬物治療学	難治性消化管疾患の病態解明と新たな 治療戦略 ―薬剤性腸炎に対するグル タミン酸の有用性―
29	正水 芳人	同志社大学大学院 脳科学研究科 教授	神経科学	脳疾患を治療するための先進的基盤技 術開発
30	島村 宗尚	大阪大学大学院 医学研究科 寄附講座 准教授	神経内科・ 総合内科	新規抗炎症ペプチド MHP1 を用いた肺 線維症の予防および治療応用への検 討
31	南 聡	大阪大学大学院 医学系研究科 特任助教	腎臓内科学	1細胞 RNA-seq 解析を用いた AKI to CKD transition における細胞間シグナ ル伝達ネットワークの包括的な解明と新 規治療法の開発
32	園田 素啓	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授	有機合成化学	生物活性を有する新規縮合多環化合 物の合成とそれを利用した農園芸用波 長変換被覆資材の開発
33	甲斐 建次	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授	天然物化学・ 天然有機化学	プラスチックやガラス表面への細菌の固 着を制御する化学戦略
34	山岸 良多	大阪市立大学大学院 医学研究科 助教	腫瘍生物学	運動による生体内代謝環境変化を介し た肝がん抑制メカニズムの解明
35	平原 幸恵	関西医科大学 医学部 講師	神経解剖学・ 組織細胞化学 ・質量分析学	髄鞘形成・維持における脳由来胆汁酸 の生理機能解析
36	伊藤 俊樹	神戸大学 バイオシグナル総合 研究センター 教授	細胞生物学	ウイルス感染細胞における合胞体形成 の分子メカニズム

37	阿部 隆之	神戸大学大学院 医学研究科 准教授	ウイルス学・ 免疫学	新型コロナウイルス感染症に対する新たな創薬開発の為の基盤研究
38	奥田 健介	神戸薬科大学 薬化学研究室 教授	医薬化学・ ケミカルバイオ ロジー	強力ながんの栄養飢餓耐性解除能を有するカリストリロンOに基づくがん微小環境モジュレータの開発
39	宝田 剛志	岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 教授	組織機能修復 学分野	関節の光 in vivo イメージング技術を利用した変形性関節症治療薬の開発
40	岡田 誠剛	倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授	神経生理学	慢性ストレスによるうつ様行動への K ⁺ チャンネルを介したニューロモデレーションの有効性
41	神沼 修	広島大学 原爆放射線 医科学研究所 教授	薬理学・ 免疫学	病原性 T 細胞の反応エピトープ同定と改変に基づくペプチド免疫療法の開発
42	石澤 有紀	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 准教授	医学	急性大動脈解離の発症予防戦略確立に向けた機能性食品の探索
43	清水 真祐子	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 助教	栄養学	生薬オウバクの主要含有物であるベルベリンの代謝関連脂肪肝炎(MAFLD)病態抑制機序の解明
44	押海 裕之	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授	免疫学	改変型抗体を用いた新型コロナウイルスに対する新たな治療薬の開発
45	中田 浩智	熊本大学病院 感染免疫診療部 准教授	血液・ 感染症分野	難治性真菌症(ムーコル症)の増殖を抑制する生薬の作用機序の解明および治療薬への応用

③第1回(2012年度)から第4回(2015年度)までの採択者から提出いただいた最終報告書を取り纏めた「研究報告書(第1集)」を刊行すべく、編集作業を行った。

(2) 顕彰事業(第3回小林賞)

① 公募期間：令和3年7月20日～9月16日

② 令和3年12月15日開催の小林賞選考委員会において、京都大学大学院医学研究科長から推薦のあった、京都大学大学院医学研究科教授の 岩田 想 氏を受賞候補者として選定、理事会は、同氏を「第3回小林賞受賞者」として決定し、推薦者及び受賞者に通知した。

Ⅱ. 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年4月28日 (決議の省略)	1. 令和3年度(第20期)奨学生の決定について	全会一致で承認・可決
令和3年6月4日 (決議の省略)	1. 令和2年度事業報告及び収支決算について	全会一致で承認・可決
	2. 選考委員の選任について	全会一致で承認・可決
	3. 職務執行状況の報告について(報告)	
令和3年6月18日 (決議の省略)	1. 「小林賞選考委員会」及び「医学部生育成支援プログラム選考委員会」における選考委員の選任について	全会一致で承認・可決
	2. 事務局長の交代について	全会一致で承認・可決
	3. 業務委託契約について	全会一致で承認・可決
令和3年6月28日 (決議の省略)	1. 理事長、副理事長及び常務理事の選定について	全会一致で承認・可決
令和3年8月18日 (決議の省略)	1. 医学部生育成支援プログラム(第1期生)奨学生の決定について	全会一致で承認・可決
令和3年12月2日 (決議の省略)	1. 令和3年度事業計画及び収支予算の一部変更について	全会一致で承認・可決
令和3年12月24日 (決議の省略)	1. 第10回(令和3年度)研究助成の決定について	全会一致で承認・可決
令和4年1月14日 (決議の省略)	1. 第3回小林賞受賞者の決定について	全会一致で承認・可決
令和4年2月1日 (決議の省略)	1. 令和3年度臨時評議員会の開催及び招集について	全会一致で承認・可決
令和4年3月11日 (決議の省略)	1. 令和4年度事業計画及び収支予算について	全会一致で承認・可決
	2. 令和4年度業務委託契約について	全会一致で承認・可決
	3. 株主権の議決権行使について	全会一致で承認・可決
	4. 令和4年度定時評議員会の開催について	全会一致で承認・可決
	5. 職務執行状況の報告について(報告)	

(2) 評議員会

令和3年6月28日 (決議の省略)	1. 令和2年度事業報告について(報告)	
	2. 令和2年度決算の承認について	全会一致で承認・可決
	3. 役員(理事)の改選について	全会一致で承認・可決
令和3年12月10日 (決議の省略)	1. 令和3年度事業計画及び収支予算の一部変更について	全会一致で承認・可決

令和4年3月11日 (決議の省略)	1. 令和4年度事業計画及び収支予算について	全会一致で承認・可決
	2. 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について	全会一致で承認・可決
	3. 株主権の議決権行使について (報告)	
	4. 令和4年度定時評議員会の開催について (報告)	
	5. 職務執行状況の報告について (報告)	

(3)選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年4月14日 (書面決議)	令和3年度奨学生の選考 (申請者数：一般奨学生47名、特別研究奨学生5名)	書類審査により、一般奨学生37名、特別研究奨学生4名の計41名を新規に選考
令和3年7月29日	令和3年度「医学部生育成支援プログラム」奨学生(第1期生)の選考 (申請者数：6名(3大学各2名))	書類審査並びに面接に (Zoom)より、4名を (2大学各2名)新規に選考
令和3年12月2日	令和3年度研究助成の選考 (申請件数：153件)	書類審査により、新規45件を選考
令和3年12月15日	令和3年度「第3回小林賞」の選考 (申請件数：11件)	書類審査により、国立大学法人京都大学大学院医学研究科教授の岩田 想氏を選考